

本校研究主題

自ら学び 豊かな関わりの中で 伝え合い 高め合う児童の育成
～単元構成の工夫・必然性のある学習課題の設定・対話の場の充実を通して～

第6学年松組 国語科学習指導案

指導者 伊達 成章

1 日時・場所 令和4年11月9日(水)第2校時(9:35～10:20) 自教室

2 単元名 今の時代だからこそ大事!宮沢賢治のイチオシメッセージを受け取ろう
「やまなし」他 宮沢賢治作品(16冊)

3 選んだ本

貝の火	注文の多い料理店	気のいい火山弾	どんぐりと山猫
虔十公園林	銀河鉄道の夜	なめとこ山の熊	蛙のゴム靴
グスコブドリの伝記	双子の星	よだかの星	セロ弾きのゴーシュ
ツェねずみ	ポラーノの広場	カイロ団長	北守将軍と三人兄弟の医者

4 単元の目標

- 宮沢賢治の作品を読んで、比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。
知(1)ク【知識・技能】
- 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
思C(1)エ【思考・判断・表現】
- ◎ 宮沢賢治の作品を読んでまとめた意見や感想を共有し、今の時代だからこそ大事な宮沢賢治のメッセージを受け取り、深めることができる。
思C(1)カ【思考・判断・表現】
- 今の時代だからこそ大事な宮沢賢治のイチオシメッセージを受け取るために、意欲的に本を読んだり、自分の考えを積極的に伝え合ったりしようとしている。
【学びに向かう力・人間性等】

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 宮沢賢治の作品を読んで、比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 知(1)ク	○ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 思(1)エ ○ 宮沢賢治の作品を読んでまとめた意見や感想を共有し、今の時代だからこそ大事な宮沢賢治のメッセージを受け取り、深めている。 思(1)カ	○ 今の時代だからこそ大事な宮沢賢治のイチオシメッセージを受け取るために、意欲的に本を読んだり、自分の考えを積極的に伝え合ったりしようとしている。

6 指導観

(1) 児童について

本学級の児童（29名）は、素直で意欲的である。国語科の授業においても、決まった友達だけではなく、男女問わず様々な友達と考えを自由に交流することができる。しかし、読むことに関しては、叙述に基づいて読もうとしているものの、内容を深く読み取ることのできる児童は少ない。

本校の6年生は、「未来につながれ 笑顔いっぱい 夢いっぱい 平和で明るい金子の町 ～生き方のカギを見つけよう～」というESDテーマの下、様々な教科で自分の生き方の参考になることを見付けている。本教材においても『やまなし』からどんなメッセージ（主題）を受け取りましたか？という質問に対して、「人間には及ばない強大な存在があるということ」「命のつながりを大切にすること」などの生き方に触れている児童は8名であった。その他、「川の恐怖」「怖いものに向き合うこと」など生と死に関するものを感じ取っている児童はいるが、大半は、抽象的で漠然とした捉え方であった。宮沢賢治の作品は難解なので、一方向ではなく多面的・多角的に見る必要がある。児童同士の対話を通して、様々な角度から考えさせることで、考えを広げ深めるようにしていきたい。

(2) 単元構成について

宮沢賢治の生きた時代と現在では似ている部分がたくさんある。本単元の最初に、「今はどんなことが起こっているか？」と問い掛けたところ、「新型コロナウイルス感染症、戦争、災害、円安、知っている人の死、SNSの発展、お家時間が増えた」などの意見が児童から出た。そして、宮沢賢治の生きた時代と共通点を見つけた上で「自由にメッセージを受け取るのか」「今の時代だからこそ大事なメッセージを受け取るのか」を話し合った。その結果、「令和の時代に生きる私たちだからこそ受け取れるメッセージがある。」という発言から、「今の時代だからこそ大事な宮沢賢治のメッセージを受け取る」ことに決まった。最終的には、受け取ったメッセージを表した読書ボードを作成し、展覧会という形で発信する場を設定する。

第一次では、学校司書と一緒にブックトークを行い、宮沢賢治作品を読む意欲を高めていく。そして、担任が読んだ本の中からのイチオシメッセージを「読書ボード」で紹介し、言語活動のモデルを示すとともに学習の見通しを持たせる。また、「イチオシの宮沢賢治のメッセージ」を伝えるために、どんな項目（あらすじ、受け取ったメッセージ、心に響いた文など）が必要か考える。そして、今の時代だからこそ大事なイチオシメッセージを一人で見付けられるようにするために、全員で『やまなし』を読むという必然性を持たせたい。

第二次では、『やまなし』から、今の時代だからこそ大事な宮沢賢治のメッセージを受け取るために児童から出た学習課題を基に学習計画を考えていく。そして、他の作品でもメッセージを受け取るために「メッセージ発見の術」と題して、観点を考えさせたい。予想される観点は次のようなものである。

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> 会話文や言動から考える。 | <input type="radio"/> 変化や山場から考える。 | <input type="radio"/> 題名から考える。 |
| <input type="radio"/> 登場人物の人物像から考える。 | <input type="radio"/> 対比して考える。 | <input type="radio"/> 情景描写から考える。 |
| <input type="radio"/> 色に注目して考える。 | <input type="radio"/> 時代背景から考える。 | |

そして、宮沢賢治のメッセージを受け取るために、思考ツールを使って考えを整理し、グループ交流や自由交流などの学習形態で意見を深めたり、全体で深める場を設定したりするなどして、対話の場を工夫したい。最終的には、「コロナ禍はたくさんの制限があり、あれもできないこれもで

きないと思っけてしまいがちだけれど、見えなただけで身の回りには、幸せや希望がたくさん隠れている」「命は一つで、大切なもの。戦争などで命は不当に奪われるものではない。」などのメッセージを感じ取ってほしいと考えている。そして、今の時代だからこそ大事な自分のイチオシメッセージを読書ボードにまとめるために、受け取ったメッセージをキャッチコピーとしてまとめたい。

第三次では、自分の選んだ本で考える「今の時代だからこそ大事なイチオシメッセージ」について読書ボードにまとめる。自分で選んだイチオシメッセージに対して、自信を持って「これだ！」と言えるようにするために座談会をする。そして座談会では、イチオシメッセージ、心に響いた文、あらすじなどを基に話し、聞く人は、受け取ったメッセージに対する自分の考えを伝えるようにする。そして、読書ボードを完成させた後、展覧会を行い、お互いのイチオシメッセージを見て、様々な考えに触れさせたい。家の人にも読んで話し合ってもらうことで、考えを聞く機会も増え、更に自分の生き方について考えを深める場としたい。

(3) 指導について

本時は座談会を通して、「これだ！」と思える、今の時代だからこそ大事な自分のイチオシメッセージを見付けたり、深めたりする学習である。読書ボードを作る際に、「このメッセージを受け取ったんだけど自信がないんだよね」や「もっとみんなに聞いて深めてみたい」という思いが出てくることが考えられる。「座談会」では、「自分はこの文から、こういうメッセージを受け取ったんだけど、みんなはどう思う？」「今の時代には、こんな生き方が大事だけど、みんなは、こう思ったことない？」などという質問に自分の考えを伝える場を設けたい。そのときに自分の思いを伝えることができるよう、本時までに教師の選んだ16冊の宮沢賢治作品を読ませておく。グループ分けも同じ作品や似たジャンルの作品などで行い、読書ボードの内容を深められるようにする。また座談会の際には、構成メモ、イチオシのメッセージをまとめるために使った思考ツールなどを用意し、考えを可視化しておく。そしてグループで相談した後、みんなにもっと聞きたいことなどを中心に全体で話し合う場も設ける。その際、教師も児童と共に話合いに参加することで、重要な叙述に気付かせたり、反論したりすることで対話の質を上げられるようにしたい。そういった取組を通して、本校の研究主題である「自ら学び 豊かな関わりの中で 伝え合い 高め合う児童の育成～単元構成の工夫・必然性のある学習課題の設定・対話の場の充実を通して～」に迫っていきたいと考えている。

7 指導計画

次	時	主な活動	評価規準（評価方法）
1	1	○ 担任や学校司書のブックトークを聞き、宮沢賢治の生きた時代と現代の状況が似ていることを知り、学習課題を持つ。	・ 宮沢賢治の作品について興味を持ち、感想を発表したり、本を読もうとしたりしている。 【態】（発言）
	2	○ イチオシメッセージを伝えるために必要な項目は何かを考える。	・ 学習課題を捉え、学習計画を立てようとしている。 【態】（発言・記述）

今の時代だからこそ大事！宮沢賢治のイチオシメッセージを受け取ろう

3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のめあてを確認して、教材文「やまなし」の学習課題を立てる。 ○ 学習計画を立てる。 	
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> やまなしから今の時代だからこそ大事なイチオシメッセージを受け取ろう </div> <ul style="list-style-type: none"> 4 ○ イチオシメッセージをつかむために宮沢賢治の生涯について話し合う。 5 ○ 今の時代だからこそ大事な宮沢賢治のメッセージを受け取るための術を考える。 ○ 今の時代だからこそ大事な宮沢賢治のメッセージを受け取るために、心に響いた文は何か考える。 6~7 ○ クラムボンが表すものは何か考える。 8~9 ○ 「五月」と「十二月」で何を表したかったのかを考える。 10~11 ○ どうして題名が「やまなし」なのかを考える。 12~13 ○ 最終的に考える「やまなし」から受けたメッセージを考え、キャッチコピーにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「イーハトーブの夢」を読み、作者の生い立ちや生涯について年表や補助資料から読み取ることができる。 【知】(発言・記述) ・ 今の時代だからこそ大事なメッセージを受け取るための観点を考えることができる。 【思】(発言・記述) ・ 心に響いた文から、今の時代だからこそ大事なメッセージを考えることができる。 【思】(発言・記述) ・ クラムボンが何を表しているのか、自分なりに考えることができる。 【思】(発言・記述) ・ 「五月」と「十二月」を対比しながら、宮沢賢治の意図を考えることができる。 【思】(発言・記述) ・ これまで学んできたことを生かして、なぜ題名が「やまなし」なのか考えることができる。 【思】(発言・記述) ・ 「やまなし」からメッセージを受け取り、キャッチコピーにまとめることができる。 【思】(発言・記述)
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 自分の選んだ本で、今の時代だからこそ大事なイチオシメッセージを受け取ろう </div> <ul style="list-style-type: none"> 14 ○ 自分が選んだ本で読書ボードに書く内容を考える。(下書き段階) 15 16 ○ 座談会を行い、悩んでいることや相手に聞きたいことを話し合う。(本時) 17~19 ○ 自分が選んだ本で読書ボードを作る。 20 ○ イチオシ賢治展覧会を行い、読書ボードで交流をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物や相互関係や心情などについて読み解いたことをあらすじや受け取ったメッセージにまとめている。 【思】(発言・記述) ・ 座談会を行い、イチオシのメッセージを受け取ったり、深めたりできている。 【思】(発言・記述) ・ イチオシの作品を紹介するために本を繰り返し読もうとしている。 【態】(記述) ・ 友達のイチオシメッセージに触れ、考えを深めている。 【思】(発言・記述)

8 本時の指導 (16/20)

(1) 目標

座談会を通して「これだ！」と思う今の時代だからこそ大事な宮沢賢治のメッセージを見付け、自分の考えを深めることができる。

(2) 本時の主な言語活動

自分のイチオシメッセージを伝え、他の人の考えを聞いて、話し合う座談会を行う。

(3) 準備物

ワークシート、タブレット、本

(4) 本時の展開

学習内容	時間	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (●・)	○指導上の留意点◎評価
1 本時のめあてを確認する。	5	座談会を通して、「これだ！」と思う今の時代だからこそ大事なイチオシメッセージを見つけよう。	
2 グループで座談会をする。	15	<p>○ 自分のイチオシメッセージの中で、みんなに聞きたいことや不安なことを話し合いましたよ。</p> <p>● 私は、『気のいい火山弾』で周りにバカにされても、「うまいよ。～」という文から、心を広く持つ大切さが分かって心に響いたよ。『気のいい火山弾』でどの部分が心に響いた？みんなの意見を聞かせてほしいな。</p> <p>・ 私は違う部分だった。えらい人が火山弾を持っていくときに、「私の行くところは明るく楽しいところではありません。…」と火山弾が話します。その文から、みんなからすごいと思われている場所だったとしても、本人にとって価値があるかどうか分からないと伝わってきたよ。今の時代はSNSなどで周りの評価を意識しすぎている人がいると思うので、自分が良いと思ったものを貫く心が大切だと思ったよ。</p> <p>● 『虔十公園林』で「人に対して、逆らうのは一生に一回しか…」や「本当の幸せがなんだかを…」が大事だと思ったんだけど、それを上手くイチオシメッセージにできていないので教えてほしいな。</p> <p>・ 私も同じ部分が大事だと思ったよ。私は、優しさが受け継がれていくイメージを受け取ったんだけどみんなはどう思う？</p>	<p>○ 形式的な司会はガイドの児童に任せる。</p> <p>○ 座談会であるが、不安なことを相談してもよいということは教師が伝える。</p> <p>○ 自分の思いを語りやすくするために、思考ツール（タブレット）や実際の本の叙述を提示しながら話すよう促す。</p> <p>○ それぞれの意見を事前に把握し、話合いに行き詰まっているグループに、メンバーの一員として発言し、対話の質を高める。</p>
3 全体で座談会をする。	20	<p>○ みんなでもっと話し合いたい意見はありませんか。</p> <p>● 私は、『グスコーブドリの伝記』から、相手のために行動する大切さを学んだけど、ブドリは最後みんなのために身を捧げます。今の時代だからこそ、大変な中で自分だけでなくみんなのことを考えて行動することが大事だ</p>	<p>○ 全員が話合いに参加できるように、内容に応じて、個人で考えたりペアで考えたりする時間を確保する。</p> <p>○ 対話の質を上げるために教師が子どもの立</p>

<p>4 タブレットを使って振り返りを行う。</p>	<p>5</p> <p>○ イチオシ座談会をしてみて、感じたことを「きなこもち」で振り返りましょう。</p> <p>● そうか！二人の考えを合わせるとみんなのことを考えて行動した誰かのおかげで、私たちの今があるんだね。何でも簡単にできる時代だからこそ、当たり前ことに感謝して、たくさんことに支えられていることに気付きたいね。</p> <p>○ きなこもち… 友達と話すことを通して、考えが固まったのでめあてを達成できていると思います。</p> <p>○ な… 今日は、友達と話し合うことで、『気のいい火山弾』の違う視点を知って、なるほどと思いました。もうちょっと自分のメッセージを考え直してみます。</p>	<p>場になって発言し、大事な視点に気付かせたり、違った角度から考えさせたりできるようにする。</p> <p>○ 本校の振り返りの合言葉「きなこもち」を使ってタブレットで振り返りを行う。</p> <p>◎ 座談会をすることで、イチオシメッセージを受け取ったり、深まったりしているか。(観察・発表) 思C(1)カ</p>
----------------------------	---	---

9 事後の指導

読書ボードを完成させた後、友達だけでなく、保護者にも発信し、コメントをもらうことで更に考えを深めたり、達成感を味わわせたりできるようにする。

10 授業評価の視点

(1) 授業構成力

「座談会」という対話の場は、単元のねらいを達成するために有効であったか。

(2) 授業実践力

児童の話合いに参加しての教師の発言は、対話の質を高める支援となっていたか。